

池田山フライトエリア利用規約

基礎技術の維持	1、練習場での立上げ及び頭上安定から離陸練習等の実施
	2、飛行中の旋回などの技術練習
	3、着陸アプローチの考察と練習
	4、パラシュートやツリーランセット（レスキューセット）の使用方法を毎年確認
基礎知識の維持	1、気象学 飛行に適した気象条件を把握
機材の点検	1、パラグライダーの点検を2年ごとに実施（ライン長、空気透過率など） ※池田山カップ参加選手は、ハンググライダーの点検が必要。開催要項別紙の③を参照下さい。
	2、パラシュートの点検とリパックをライセンス所有者にて実施
	3、ツリーランセット（レスキューセット）を毎年点検 ※池田山カップ参加選手は、任意とする。ツリーラン回収用のタコ糸を所持することが望ましい。
飛行前会議	1、飛行当日に会議（ブリーフィング）を実施し、気象条件等を把握する
	2、飛行条件の変化など必要事項は常に連絡を取り合い修正する
健康に配慮	1、20m程度を走る事が可能である
	2、「飛行時のセットアップを忘れた」などが見受けられる場合は飛行禁止
	3、医師などからスポーツの制限を受けていない事
アクシデント	1、全てのアクシデントを書面にて池田フライト安全管理委員会に報告する事
	2、第3者への損害は誠意を持って全てを弁済する事。（怪我、耕作物、建物、車等）
禁止事項	1、指定地及び（許可地）以外への着陸を禁止する
	2、単独飛行の禁止（単独の方は勉強やブリーフィングを行えるチームを作ること）
	3、民家などの上空は極力飛行しない
	4、強風や強い上昇気流状況では飛行禁止
罰則規定	1、アクシデントが発生した団体は3ヶ月間飛行自粛し基礎技術等の再勉強期間とする ※池田山カップ参加選手は、上記に替えて以下扱いとする：アクシデントを起こしたパイロットは、大会実行委員会の裁定により罰則（フライト失格または大会失格）を課す。
	2、アクシデントの無報告団体は事実の隠匿・隠蔽とみなし今後一切の飛行禁止とする
飛行届け	1、飛行前に入下山簿に記入し、池田町役場へFAXにて報告してください ※池田山カップ参加選手は、大会運営にてまとめて対応するため、選手個人での対応は不要です。
	2、一ヶ月毎に池田町役場にて施設利用料の支払いをお願い致します ※池田山カップ参加選手は、大会運営にてまとめて対応するため、選手個人での対応は不要です。

池田山フライトエリア利用規約

	3、飛行団体は名称、代表者、加入者名簿等を提出する事 ※池田山カップ参加選手は、大会運営にてまとめて対応するため、選手個人での対応は不要です。
スクール	インストラクターの管理・監督下で、練習生が飛行可 ※利用規約等に例外は無い
保険	第三者賠償責任保険1億円程度及び自身の傷害保険に加入する事 ※同等の財力・資産力がある場合は保険の加入は免除する。

※上記内容を厳守し、不安な事項は練習・勉強等を実施し、改善された後に飛行をお楽しみください。

アクシデント報告が必要な事象一覧

飛行等	1、指定地及び（許可地）以外への着陸 ※休耕田、河川敷を含め例外は無い （毎月末に報告すること）
	2、山に墜落または引っかかる（通称山チン）
	3、その他の墜落、激突、パラシュート使用等
負傷	1、捻挫・骨折・圧迫骨折・強度の打撲、靱帯損傷等
第3者損害	1、第3者との接触や負傷及びその可能性がある場合（人・怪我の有無にかかわらず）
	2、第3者への器物破損やその可能性がある場合（民家・車・電線等）

※アクシデントが発生した団体は3ヶ月間飛行禁止は罰則のみでは無く、事故原因を含むあらゆる事項の究明と改善。そして基礎技術、基礎知識等の再勉強期間とし、今後の安全性向上と本人を含む各団体の発展の為である。

除名となる事項

利用禁止期間	1、利用禁止の際に原因究明、改善、基礎の再勉強等を一切行わない団体は除名とする
第三者	1、第三者賠償を行わない団体は除名とする
犯罪等	1、犯罪等を行なった者は除名とする。（個人であり団体では無い）
	1、公序良俗に反する行為を行った者は除名とする。

私は、池田山フライトエリアを利用するに当たり、上記事項を遵守することを誓約します。

令和 年 月 日 氏名（署名）